

SPA300/SPA500シリーズIP Phoneでのセッション開始プロトコル(SIP)タイマー値 (秒) の設定

目的

セッション開始プロトコル(SIP)は、IPベースのネットワークでセッションを作成、管理、および終了するために使用されるシグナリングプロトコルです。SIPは、コール管理のメカニズムです。また、ユーザの場所を確立し、機能ネゴシエーションを提供して、セッションの参加者全員がサポートされる機能について合意し、進行中のセッションの機能を変更できるようにします。

この記事では、SPA300およびSPA500シリーズIP PhoneでのSIPタイマー値の設定について説明します。

該当するデバイス

- ・ SPA300シリーズIP電話
- ・ SPA500シリーズIP電話

SIPタイマー値の設定

ステップ1:Web設定ユーティリティを使用して、[Admin Login] > [Advanced] > [Voice] > [SIP]を選択します。[SIP]ページが開きます。

注： SPA300またはSPA500シリーズIP Phoneでは、[Device Administration] > [Call Control Settings] > [Signaling Protocol SIP]を使用します。

ステップ2:[SIP T1]フィールドにRFC-3261 T1値を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 0.5 秒です。

ステップ3:[SIP T2]フィールドにRFC-3261 T2値を入力します。これは、非INVITE要求およびINVITE応答の最大再送信間隔です。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 4 秒です。

ステップ4:[SIP T4]フィールドにRFC-3261 T4値を入力します。これは、メッセージがネットワークに残る最大期間です。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 5 秒です。

ステップ5:[SIP Timer B]フィールドにRFC-3261 INVITEトランザクションタイムアウト値を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 16 秒です。

ステップ6:[SIP Timer F]フィールドにRFC-3261 Non-INVITEトランザクションタイムアウト値を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 16 秒です。

ステップ7:[SIP Timer H]フィールドに、ACK受信のRFC-3261 INVITE最終応答タイムアウト値を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 16 秒です。

ステップ8:[SIP Timer D]フィールドに、再送信のRFC-3261待機時間を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは16秒です。

ステップ9:[SIP Timer J]フィールドに、非INVITE要求の再送信のRFC-3261待機時間を入力します。範囲は0 ~ 64秒です。デフォルトは 16 秒です。

ステップ10:[ReINVITE Expires]フィールドにReINVITE request Expiresヘッダー値を入力します。範囲は0 ~ 19999999999999999999999999999999です。0を入力すると、Expiresヘッダーは要求に含まれません。デフォルトは 30 秒です。

ステップ11: プロキシから許可された最小登録有効期限を「*Reg Min Expires*」フィールドに入力します。プロキシがこの設定より小さい値を返した場合は、2つの値のうち最小値が使用されます。デフォルトは1秒です。

ステップ12:[Reg Max Expires]フィールドにプロキシから許可される最大登録有効期限を入力します。この設定より大きい値の場合は、2つの値のうち最大のものが使用されます。デフォルトは7200秒です。

ステップ13:[Reg Retry Intvl]フィールドに再試行間隔を入力します。前回の登録時に失敗した後、Cisco IP Phoneが登録を再試行するまでの間隔です。範囲は1 ~ 268435455です。デフォルトは30秒です。

ステップ14:[Reg Retry Long Interval]フィールドに再試行間隔を入力します。SIP応答コードがRSC値と一致しない場合は、IP電話は再試行までこの時間を待機します。この値は再試行間隔0です。268435455.デフォルトは1200秒です。

ステップ15:[Reg Retry Random Delay]フィールドに再試行ランダム遅延を入力します。エラー後にREGISTERを再試行すると、[Register Retry Intvl]値にランダム遅延が追加されます。範囲は0 ~ 268435455です。この機能を無効にします。

ステップ16:[Reg Retry Long Random Delay]フィールドに再試行長ランダム遅延を入力します。失敗後にレジスタを再試行すると、[Register Retry Long Intvl]値にランダム遅延が追加されます。デフォルトは0で、この機能は無効になります。

ステップ17:[Reg Retry Intvl Cap]フィールドに、指数遅延の最大値を入力します。これは Register Retry Intvlから開始され、再試行ごとに2倍になります。範囲は0 ~ 268435455です。デフォルトは0で、この機能は無効になります。

ステップ18:[Sub Min Expires]フィールドに、プロキシサーバから返される期限切れ値の下限を入力します。範囲は0 ~ 268435455です。デフォルトは10秒です。

ステップ19:[Sub Max Expires]フィールドに登録の上限を入力します。このフィールドの値は、プロキシサーバから返されます。範囲は0 ~ 268435455です。デフォルトは7200秒です。

ステップ20:[Sub Retry Interval]フィールドに、最後のサブスクライブ要求の再試行間隔を入力します。範囲は0 ~ 268435455です。デフォルトは10秒です。

ステップ21:[Submit All Changes]をクリックして、設定を保存します。